



津幡南中だより

津幡町立津幡南中学校

校長 舛井 重夫 TEL288-7420

令和元年9月27日(金) 特別号

校訓 ☆燃えるような情熱 ☆ひたむきな純粋さ ☆たゆみない向上心

令和元年度の学力調査結果を受けて

校長 舛井 重夫

年度当初の4月に「全国学力量習状況調査」・「県基礎学力調査」・「町学力調査」が実施され、8月下旬に全ての結果が判明しました。その結果と今後の対策についてお知らせします。

〔実施された学力テスト〕

全国学力・学習状況調査：3年〔国語・数学・英語（話すことを含む）〕

県学力調査：3年〔社会・理科〕

町学力調査：2年〔国語・社会・数学・理科・英語〕 1年〔国語・社会・数学・理科〕

〔学力テストの結果〕

下記表中の印（◎○□△▲）は、本校の平均正答率を、国や県の平均正答率と比較したものです。

◎…高い（+5ポイント以上） ○…やや高い（+2.0～+4.9ポイント） □…ほぼ同じ（-1.9～+1.9ポイント）

△…やや低い（-2.0～-4.9ポイント） ▲…低い（-5ポイント以上）

		国語	社会	数学	理科	英語
3年	国との比較	○	/	◎	/	○
	県との比較	□	▲	○	▲	□
2年	国との比較	◎	◎	◎	□	○
1年	国との比較	○	◎	◎	◎	/

以上のように、学力調査結果から見た本校生徒の学習状況は、国と比べ概ね良好です。また、県と比較するとほぼ同じであるといえます。しかし、教科によっては県平均より下回るものもあり、領域や分野別に分析した結果、課題も見つかり、2学期からは下記の取組に力を入れています。

◇教科別の傾向と対策

【国語】 ・全体的に回答率、正答率とも良好である。

・話し合いの話題の方向性を捉え、それに対して自分なりの考えを持つことに課題が見られる。観点をあげて分析したことを根拠として、条件に合った作文を書かせる授業を展開する。また、並行読書などを通して比べ読みを取り入れる授業展開をする。

【社会】 ・知識・理解を問う問題の正答率は良好である。しかし、地図の特色や経度・緯度の読み取り、歴史的な時代の流れを捉える力に課題がある。既習事項について、しっかり確認する機会を設ける。

・複数の資料を正確に読み取り、それを表現する力や考察したことをまとめる力に弱さが見られる。授業に資料の読み取りや関連づけて記述で説明する活動を取り入れる。

【数学】 ・基本的な計算など基礎的な問題は概ねできている。

・正答率の低かった問題（関数の式とグラフについての理解、図形の性質の証明記述）について基本的事項を復習し、自分の言葉で説明できるようにする。

・ペアやグループ活動を多く取り入れ、簡単な問題でも数学的な表現を用いて説明する機会を増やす。

【理科】 ・基本的な知識は身に付いているが、理解した学習内容を用いて説明したり、考察したことを文章で表現したりすることに課題が見られる。実験での予想・考察・まとめなどを文章で表現するための時間を確保する。

・計算問題への苦手意識が見られる。既習内容の定着を図るため計算を含む問題に取り組みさせる。

【英語】 ・聞いた内容を理解して表現したり、読んだ内容を理解して表現したりする力に弱さがみられる。1対1のペア活動だけでなく、わかったことを第三者に伝える活動を意識して取り入れる。

・「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと」を単独ではなく、つなげながら指導していく。